

平成29年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、「北九州市教育大綱」として、市長と教育委員会で共有した方向性に沿って、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを推進します。

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進し、「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」という本市教育の目標の実現に向けて取り組めます。

平成28年3月に策定した「北九州市学力・体力向上アクションプラン」に基づいた取組みを着実に実施するとともに、特別支援教育の充実や信頼される学校運営の推進、課題となっている学校施設の老朽化対策など、教育環境の向上を図ります。

I 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

- 1 心の教育推進事業
- 2 「北九州市中学生文化芸術祭」開催事業

II 学力・体力向上に向けた取組み

- 3 北九州市学力状況調査事業
- 4 アクティブ・ラーニング推進事業
- 5 次期学習指導要領に対応した新たな英語教育の推進事業
- 6 子どもひまわり学習塾事業
- 7 学力定着サポートシステム構築・運用事業
- 8 学校の読書活動推進事業
- 9 体力アップ推進事業
- 10 部活動振興事業

III 特別支援教育の充実

- 11 特別支援教育を推進する体制の充実
- 12 障害者理解の促進
- 13 特別支援学校スクールバス運行体制の整備
- 14 小池特別支援学校整備事業
- 15 小倉総合特別支援学校整備事業

IV 信頼される学校運営の推進

- 16 学校支援のための市費講師等配置事業
- 17 学校現場における業務改善モデル事業
- 18 「チーム学校」運営・推進事業
- 19 北九州教師養成みらい塾事業

V 教育環境の整備

- 20 学校施設老朽化対策事業
- 21 小中学校等空調設備整備事業

VI 図書館の整備、機能の充実

- 22 子ども図書館整備事業
- 23 小倉南図書館整備推進事業

VII 県費教職員の給与負担等の権限移譲

- 24 権限移譲に伴う教職員給与支給等関連事業

教育委員会総務部企画調整課

TEL: 582-2357 ※個別の事業の内容については、各担当課へ
担当(用田・藤田) お尋ねください。(P7参照)

I 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

1 心の教育推進事業

〈一部再掲〉28,894千円

いじめや不登校をはじめとした子どもたちの問題行動や、人間関係の構築が困難な児童生徒に対応するため、「北九州子どもつながりプログラム」を全校で実施するとともに、芸術性の高い文化・芸術の鑑賞機会の提供や文化活動の充実を図ることにより、社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育む道德教育・体験活動を推進する。

2 「北九州市中学生文化芸術祭」開催事業

〈一部再掲〉6,100千円

中学生合唱フェスティバル、連合音楽会、文化総合発表会を一体の芸術祭として市内各所で順次開催することにより、中学生の文化活動の充実を図るとともに、本市の文化的風土を醸成する。

II 学力・体力向上に向けた取組み

3 北九州市学力状況調査事業

50,000千円

小学校から中学校まで児童生徒一人一人の学力を継続的に把握・分析し、学力の向上に役立てるための学力調査を拡充して実施し、全国学力・学習状況調査の結果とあわせて、よりきめ細やかな指導を行う。

【事業概要】

《H28年度》		⇒	《H29年度》	
対象学年	実施教科		対象学年	実施教科
小5	国語・算数		小4	国語・算数
中1	国語・数学		小5	国語・算数・理科
中2	国語・数学		中1	国語・算数・理科・英語
			中2	国語・算数・理科・英語

4 新アクティブ・ラーニング推進事業

2,000千円

学習指導要領の改訂の方向性を踏まえ、教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から学習過程及び学習指導方法の開発・改善を行い、その成果の普及を図る。

5 新次期学習指導要領に対応した新たな英語教育の推進事業

13,598千円

リーディングスクールに、常駐のALTを拡充配置するとともに、英語が堪能な日本人授業助手を新たに配置する。これにより、小学校教員の授業力向上を図るとともに、次期学習指導要領に対応した英語教育のモデル実践を行う。

6 子どもひまわり学習塾事業

170,000千円（他に債務負担16,800千円）

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充して実施する。

【事業概要】

《H28年度》		⇒	《H29年度》	
	実施校数			実施校数
小学校	90校		小学校	100校
中学校	22校+5拠点 (全62校を対象)		中学校	22校+5拠点 (全62校を対象)

7 学力定着サポートシステム構築・運用事業

7,000 千円

診断問題及び補充学習用教材の提供を通して、各学校における診断問題を活用した、児童生徒一人一人のつまづきの把握、効果的な補充学習の推進を支援する。

8 学校の読書活動推進事業

121,677 千円

「北九州市子ども読書活動推進条例」の規定を踏まえて、子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、学校図書館職員を拡充して配置し、中学校区及び特別支援学校における読書活動を一層推進する。

【事業概要】

《H28 年度》		⇒	《H29 年度》	
	学校図書館職員			学校図書館職員
中学校	37 名		中学校	43 名
特別支援学校	1 名		特別支援学校	1 名

9 体力アップ推進事業

5,000 千円

各学校の児童生徒の実態に即した運動を推進する「体力向上プログラム（1校1取組など）」を作成・活用し、授業の準備運動や授業以外の業間運動など、日常的に運動を行う子どもを育て、体力の向上を図る。

10 部活動振興事業

90,943 千円

市立学校の部活動振興及び教員の負担軽減を図るため、競技等の指導を行う「部活動外部講師」に加え、新たに顧問や引率等の業務を担う「部活動指導員」を配置するほか、部活動用品等の充実など、生徒が充実した部活動を行える環境を整備する。

【事業概要】 部活動指導員 : 0人→15人

Ⅲ 特別支援教育の充実

11 特別支援教育を推進する体制の充実

〈一部再掲〉367,357 千円

特別支援教育学習支援員の拡充配置やスクールカウンセラーの配置・活用により、特別支援教育に係る支援体制や相談機能の充実を図るとともに、就労支援コーディネーターの配置・活用などにより、将来の自立や社会参加に向けたきめ細かな就労支援を進める。

【事業内容】

- 再掲 特別支援学級補助講師の配置事業【178,370 千円】 配置人数：53名⇒55名
- 再掲 市立幼稚園における特別支援教育のための市費講師配置事業【17,275 千円】
- 特別支援教育相談支援事業【43,523 千円】 早期支援コーディネーターの配置：3名
- 「特別支援教育介助員」の配置【31,158 千円】
- 再掲 学校支援のための市費講師配置事業の一部（特別支援教育補助）【36,261 千円】
- 「チーム学校」運営・推進事業（スクールカウンセラーの充実）【4,700 千円】
- 再掲 「特別支援教育学習支援員」の配置【38,174 千円】 配置人数：5名⇒19名
- 特別支援教育推進事業【11,811 千円】
- 特別支援学校における緊急時対応体制整備事業【6,085 千円】

12 障害者理解の促進

7,500 千円

障害のある子どもと障害のない子どもが「交流及び共同学習」の中で障害者スポーツや文化・芸術活動に共に取り組むことを通じて、互いの個性や多様性を認め合い、相互理解を深め、豊かな人間性を培うきっかけとする。

また、市民が特別支援学校で使用する教材づくり参加することで、特別支援教育の趣旨や「合理的配慮」の重要性に対する理解の促進を図り、共生社会の実現につなげていく。

【事業内容】

- **新**心のバリアフリー推進事業【6,000 千円】
- 市民・学校・企業との連携による教材・教具・作品づくり事業【1,500 千円】

13 特別支援学校スクールバス運行体制の整備

216,054 千円

(他に債務負担 185,000 千円)

特別支援学校スクールバス利用者の増加に伴い、乗車時間の長時間化や乗車人数の過密化が喫緊の課題となっているため、車両の増車等により運行体制を整備する。

14 **新**小池特別支援学校整備事業

26,000 千円

本市西部地域における知的障害児の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭隘化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の整備にかかる基本計画に着手する。

15 小倉総合特別支援学校整備事業

30,000 千円

小倉総合特別支援学校の校舎として活用するため、総合療育センター移転後の施設を整備する実施設計に着手する。

IV 信頼される学校運営の推進

16 学校支援のための市費講師等配置事業

765,874 千円

学力向上やいじめ・非行対策、特別支援教育など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、特別支援教育学習支援員や市費講師等を拡充配置する。

17 **新**学校現場における業務改善モデル事業

3,000 千円

学校現場を取りまく課題が、複雑化・多様化する中で、教員が児童生徒に向き合う時間を確保するため、モデル校における業務改善の実践研究を実施し、学校現場における業務改善を推進する。

18 「チーム学校」運営・推進事業

〈一部再掲〉243,158 千円

学校を取り巻く環境が複雑化し、さまざまな教育課題への対応を迫られる中、特に生徒指導上の諸問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど専門性を持つスタッフを整備し、教員とともに一つのチームとして学校の教育力を高める。

(注1) スクールソーシャルワーカー

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為など、問題を抱える児童生徒が置かれた家庭環境に働きかけたり、関係機関との連携の強化を図る職員。

(注2) スクールカウンセラー

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有し、児童生徒へのカウンセリング等を行う職員。

【事業内容】

スクールソーシャルワーカー配置人数：9名⇒12名

スクールカウンセラーの配置：全62中学校・特別支援学校等に配置、全小学校に派遣

など

19 新北九州教師養成みらい塾事業

1,592 千円

本市の教員を志願するものを対象に、教員として必要なスキルを学ぶ機会を提供することで、採用前に力量を高め、質の高い新規採用者の確保を目指す。

V 教育環境の整備

20 学校施設老朽化対策事業

974,000 千円

※平成28年度12・2月補正予算(2,364,200千円)と合わせ、3,338,200千円の事業費を計上

安全で安心な学校施設の整備を図るため、築後30年を経過した建物について経年による機能低下を復旧するために大規模改修工事を行うとともに、外壁改修などの老朽化対策を行う。

【事業内容】

○大規模改修事業	101,000 千円
○外壁改修事業	78,000 千円
○消防設備整備事業	705,000 千円
○埋設給水管及び消火管改修事業	50,000 千円
○法面改修工事	40,000 千円

21 小中学校等空調設備整備事業

20,000 千円

※平成28年度12・2月補正予算(2,248,700千円)と合わせ、2,268,700千円の事業費を計上

良好な学習環境を確保するため、小中学校等の普通教室にエアコンを整備する。平成29年度は平成30年度整備予定の小学校22校分の設計を実施する。

VI 図書館の整備、機能の充実

22 子ども図書館整備事業 189,900 千円 (他に債務負担 351,000 千円)

「北九州市子ども読書活動推進条例」に基づき、子ども図書館を整備するため、基本・実施設計を策定するとともに、改修工事等に着手する。

23 小倉南図書館整備推進事業 514,000 千円

※平成 28 年度 12 月補正予算 (346,590 千円) と合わせ、860,590 千円の事業費を計上

小倉南区の地区図書館の建設工事を引き続き行うほか、開館に向けて図書資料の購入等を行う。

VII 県費教職員の給与負担等の権限移譲

24 ⑨ 権限移譲に伴う教職員給与支給等関連事業 47,830,684 千円 (他に債務負担 188,000 千円)

平成 29 年 4 月 1 日の県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴い、小・中・特別支援学校職員の給与支給を行うとともに、研修等に必要な旅費の支出や人事給与システムの保守等を行う。

【事業内容】

○教職員給与費	47,283,852 千円
○教職員旅費	248,591 千円
○権限移譲関係事務経費	298,241 千円

教育委員会主要政策に関するお問い合わせ先

	主要政策（事業）名	主担当課
1	心の教育推進事業	指導第一課（582-2368）
2	「北九州市中学生文化芸術祭」開催事業	指導第一課（582-2368）
3	北九州市学力状況調査事業	学力・体力向上推進室（582-3445）
4	アクティブ・ラーニング推進事業	指導第一課（582-2368）
5	次期学習指導要領に対応した英語教育の推進事業	指導第一課（582-2368）、教育センター（641-1775）
6	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室（582-3445）
7	学力定着サポートシステム構築・運用事業	学力・体力向上推進室（582-3445）
8	学校の読書活動推進事業	指導第一課（582-2368）
9	体カアップ推進事業	学力・体力向上推進室（582-3445）
10	部活動振興事業	指導第二課（582-2369）
11	特別支援教育を推進する体制の充実 ①特別支援学級補助講師の配置事業 ②市立幼稚園における特別支援教育のための市費講師配置事業 ③特別支援教育相談支援事業 ④「特別支援教育介助員」の配置 ⑤学校支援のための市費講師配置事業の一部（特別支援教育補助） ⑥「チーム学校」運営・推進事業（スクールカウンセラーの充実） ⑦「特別支援教育学習支援員」の配置 ⑧特別支援教育推進事業 ⑨特別支援学校における緊急時対応体制整備事業	①②⑤ 教職員課（582-2372） ③④⑥⑦⑧⑨ 特別支援教育課（582-3448）
12	障害者理解の促進	特別支援教育課（582-3448）
13	特別支援学校スクールバス運行体制の整備	学事課（582-2378）
14	小池特別支援学校整備事業	企画調整課（582-2357）
15	小倉総合特別支援学校整備事業	企画調整課（582-2357）
16	学校支援のための市費講師等配置事業	教職員課（582-2372）
17	学校現場における業務改善モデル事業	教職員課（582-2372）
18	「チーム学校」運営・推進事業	指導第二課（582-2369）
19	北九州教師養成みらい塾事業	教育センター（641-1775）
20	学校施設老朽化対策事業	施設課（582-2361）
21	小中学校等空調設備整備事業	施設課（582-2361）
22	子ども図書館整備事業	企画調整課（582-2357）
23	小倉南図書館整備推進事業	企画調整課（582-2357）
24	権限移譲に伴う教職員給与支給等関連事業	権限移譲準備室（582-2715）